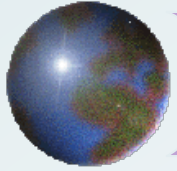


# 留学生にとっての アカデミック・ジャパニーズ(AJ)教育と ビジネス日本語(BJ)教育 —AJとBJの接点を探る—

武蔵野大学大学院  
堀井恵子

111007 第25回AJG研究会  
@米子コンベンションセンター

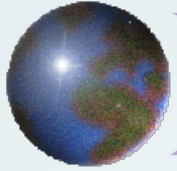


HR?

自己実現

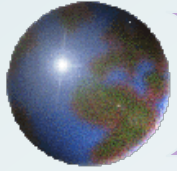
## 本日の主張

- ❖ 人が生き生きと生きていくためには？
- ❖ そのためにアカデミック・ジャパニーズ (AJ) とビジネス日本語 (BJ) が果たす役割？
- ❖ AJとBJの関係性は何か？
- ❖ 教育上の課題は何か？
- ❖ 留学生だけの問題？



# 発表の流れ

1. キャリアとは何か？
2. **BJ**教育は必要か？
3. **AJ**と**BJ**の関係
4. グローバル人材のプロフィシエンシー
5. **AJ/BJ**教育の課題⇒教師、教授法、(教材)
6. まとめ



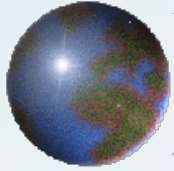
# 1. キャリアとは何か？

- ✦ 生涯を通して担う多様な役割の連なりと、自身にとっての働くことの価値づけ  
=キャリア
- ✦ 社会との相互関係を持ちつつ、**自己実現**を図っていく過程  
=キャリアの発達・形成



キャリア意識

(田崎・齋藤・見世:2011)



## 2. (留学生のための)BJ教育は必要か？

誰にとって必要か？

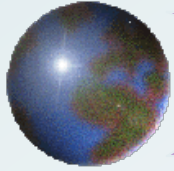
- ✦ **企業**の拠点海外移転化←円高
- ✦ 少子高齢化**対策**←労働力
- ✦ 留学生教育/**日本語教育**の出口



日本/日系企業への就職希望者が多い

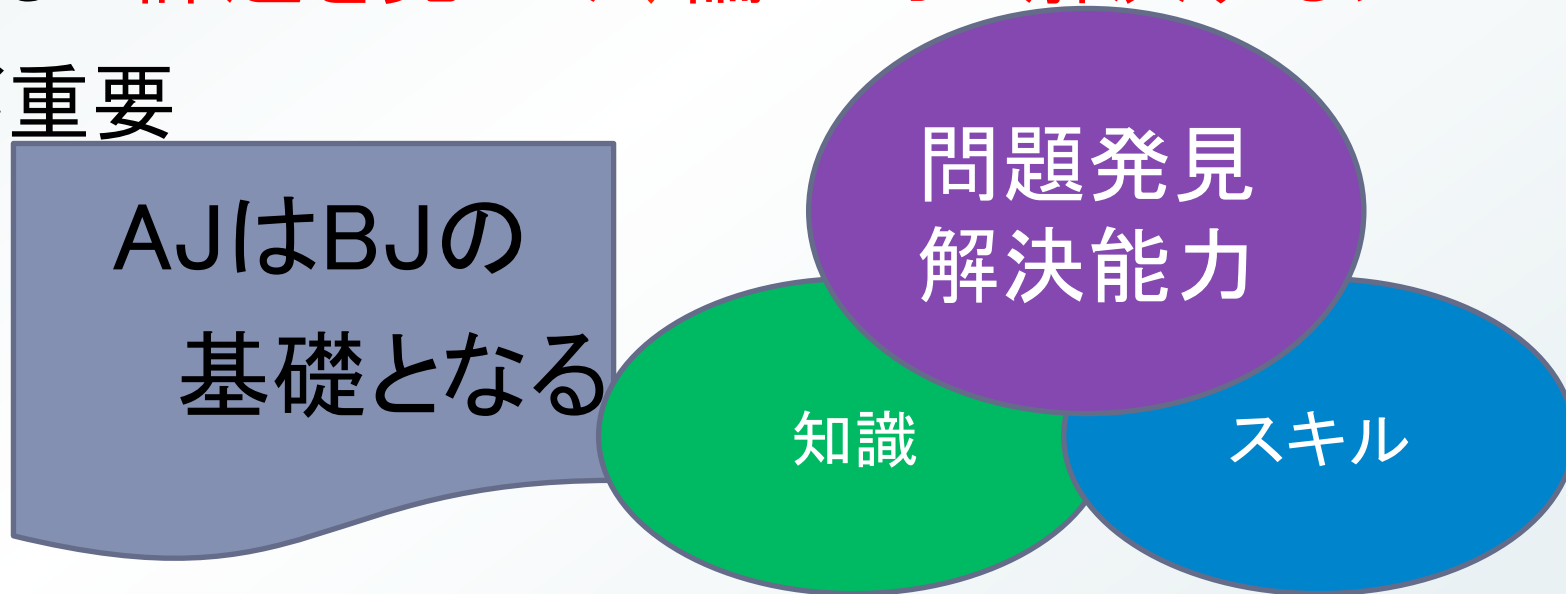
⇒しかし、AJ力だけでは企業の求めるBJ力  
に足りないものがある。

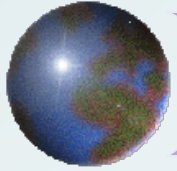
⇒入社後補えない部分＝BJ教育



### 3. AJ·BJの共通部分

- ✦ AJ: (大学での)学びに必要な日本語
  - ✦ BJ: 仕事を遂行するために必要な日本語
- ともに課題を見つけ、論理的に解決する力が重要





### 3. AJ・BJの違い

- ✦ コミュニケーション場面(相手・対象)

AJ:主に大学内、教員・学生

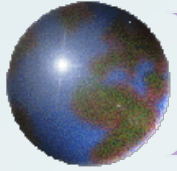
BJ:(グローバル)企業内外(間)など、

- ✦ BJは、よりシビア

損失を招いた例、交渉、スピード

- ✦ BJは、より異文化調整能力が必要

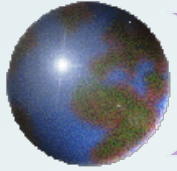




## AJとBJがつながる例

- ❖ ゼミ活動(2年⇒4年縦断的ゼミ/日本人学生・留学生混在)で  
毎回、各自、卒論に向け、問いを立てる  
⇒情報収集⇒自分の結論⇒プレゼン、コメント、協働⇒新たな問いというスパイラルのPDCAを重ねていく  
⇒シュウカツ・内定が取れる学生  
その後も仕事ができる学生

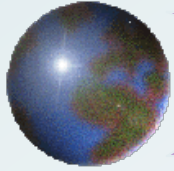




## 4. グローバル人材のプロフィシエンシー

中国日系企業調査：堀井(2008)などより

- ✦ (日本語/外国語)によるコミュニケーション力  
社内外、会議・営業などのバラエティ、電話/Eメール
- ✦ (日本・相手国の)企業文化の理解  
( \* 日本ではホウ・レン・ソウ、チームワーク)
- ✦ ビジネスについての知識・ビジネスマナー
- ✦ 論理的説明力・スピーディな問題解決能力
- ✦ 異文化対処能力⇒異文化調整能力



## 5. AJ/BJ教育の課題 ①教師の資質

✦ AJとBJを良く理解し、

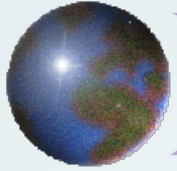
学習を支えることができる教師

✦ さらに

両方を理解し、つなげて学習  
を支える(支えようとする)教師

はどのくらいいるのか？

学びの教育  
コミュニケーション  
ン教育



## 5. AJ/BJ教育の課題 ②教授法

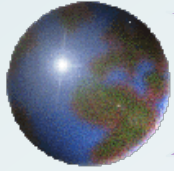
清(1995)「学習者自らが問題点を発見し、問題解決をしていくような「気づき」のための教材や教室活動」

⇒BJ例：プロジェクト型学習

⇒実際使用・インターアクション・産学連携NW

⇒気づく、考える、問題解決、協働、自律性

ゼミ活動  
論文



# 団塊世代向け商品企画プロジェクト(貿易業)の目的と流れ

## 目的・育てるもの

### ブリッジ人財の育成

- ・ 現在の日本・自国の貿易業で役立つ人財育成
- ・ **自国の製品**を日本の特定の世代向けに売り込むことのできる人財の育成

### 想定される就職先

- ・ **商社**

### 知識

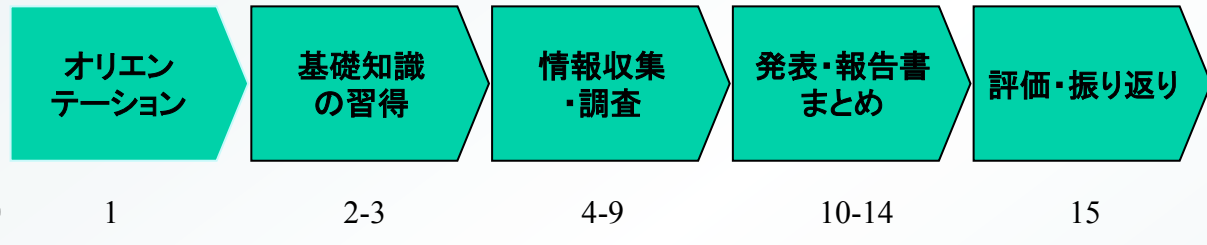
- ・ 日本の貿易業に関する知識の習得

### スキル

- ・ 自国製品と日本での顧客、競合の分析
- ・ 製品を売り込むためのマーケティング、孝行宣伝能力

### 問題解決力

- ・ 団塊世代のビジネスチャンスを生かすための製品企画



Week

活動内容

課題・提出物

境屋太一『団塊の世代』

- ・ 全体の流れの説明
- ・ チーム作り

- ・ 高齢化社会における団塊世代の位置づけに関する知識習得
- ・ 貿易業基礎
- ・ 自国製品に関する理解を深める
- ・ **ゲスト講演**

- ・ 3C分析
- ・ **企画開発**の仕方説明、実施
- ・ マーケティング/ニーズ調査のためのアンケート、インタビューの方法の習得、実施

- ・ 収集した情報の分析、まとめ
- ・ 広告の基礎、ポスター、パンフレット、**HP** **企画**・制作
- ・ 発表資料・報告書の作成
- ・ 発表の実施

- ・ 自己評価、学びの振り返り
- ・ 他チームへのフィードバック
- ・ 企業の評価
- ・ ディスカッション

- ・ (特になし)

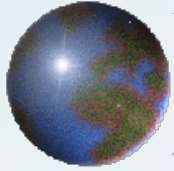
- ・ インターネット調査
- ・ 質問表作成

- ・ 企画書サンプル
- ・ アンケート/インタビュー項目作成、実施

- ・ **プレゼンテーション(PPT)**

- ・ 自己評価

・ 付属資料 1007 第25回A  
 ・ 報告書 JG研究会 @



1. オリエンテーション・団塊世代向けヒット商品を開発しよう
2. 商社について知ろう
3. 貿易業の基礎を知ろう
4. 団塊世代について知ろう
5. **商社ビジネスパーソンの講演**
6. 団塊世代向けヒット商品を分析しよう
7. 自分の企画を発表
8. チームで商品を企画しよう(会議)
9. 商品の**企画立案**をしよう(会議)
10. 広告やホームページについて知ろう
11. **ホームページを作成しよう**
12. 商品企画発表の準備をしよう
13. 商品企画発表のリハーサルをしよう
14. 商品企画を**プレゼンテーション**しよう(司会)
15. 評価・振り返りをしよう

基礎知識の習得

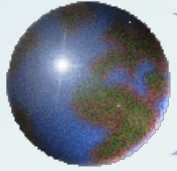
情報収集・調査

企画立案

シニア  
サポーター

プレゼンテーション

ふりかえり

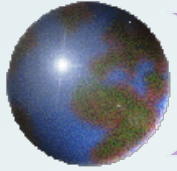


## PBL 学習者振り返りより

### 活動を通して、知ることができた知識は？

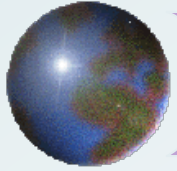
- ❖ まずは自己紹介の方法、相手に印象を残すことは大事ということです。次はビジネスマナー、笑顔を持つことや**スピード**が大切のようなことはいくつか勉強しました。その後、商品開発の**調査方法**なども勉強しました
- ❖ 主観で判断しないで、ちゃんと**裏付け調査**をすることが重要だと分かりました。活動を通して、自分の疑問を質問したり、質問に回答することで、お互いの**経験**や知恵を**共有**しあえました。





## 企画書を作ることによって気づいたこと、学んだこと

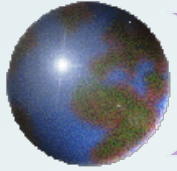
- ❖ 他者と協力し合って、企画をつくりあげることが重要だと思います。企画書の内容が**読み手**に分かりやすい流れで書きます。**説得力**のある企画書を書けるようになりました。
- ❖ 企画書を作るのに私達のチームはそれぞれ趣旨、背景、目的、概要を分担して仕上げました。作業は大変ではないけど、最後にまとまるまで、私達は**何回も打ち合わせ**をし、チームとしてコミュニケーションの大事さが実感しました。



## HPを作ること気づいたこと学んだこと

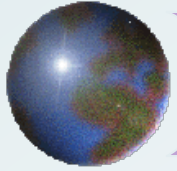
- HPを作るのに、たくさんのHPの手本を見ました。今回の企画にあわせていかに**わかりやすく**キャッチフレーズや見出しなどをアピールするのか考えました。いいホームページのポイントは何かを考え、今振り替えてみると本当に**おもしろくて**勉強になる作業だったと思います。
- HPを作った時、**シニアサポーター**からいろいろな助言を与えられた。例えば、中国人は赤が好きでよく使いがちだ。しかし、日本人から見ると、なんかセンスがなくて、内容を見る気すらなくなったりする場合がある。ここでは**日本人の考え方をベースに基づいて**、作るのが重要だと気づいた。





## プレゼンテーションをすることで...

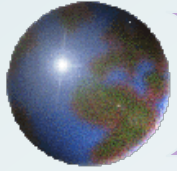
- ❖ まずは**時間**をコントロールすることが大切です、時間をオーバーしますと、次のチームに迷惑をかけるおそれがあります。2つ目に、声が高すぎたり低すぎたりする場合、聞き手に不快感を与えますので**適切な声**で発表することが肝要です。
- ❖ **説得力**のある日本語でのプレゼンテーションをする能力を身につけた。そして、限られた時間内で聞き手に自分の言いたいことが上手に伝えられるようになった。



## チームで活動することで...

- ✦ 優勝を目指して、心をひとつに頑張っていました。リハーサルの時、**意見の食い違いの場**に板挟みになった時、それにつぶされるのではなく**打開策**を打てたと思います。
- ✦ とても楽しかったです。一人で企画からプレゼンまで、全部の作業をやればきっと大変でしょう。みんなの力を合わせて、複雑なことは簡単になりました。チームメンバーはそれぞれの考え方を持って、**いろんな意見やアイデア**がどんどん出されました。また、メンバーたちは一番いい商品を作り出すために、自分が担当する部分**に何度も何度もやり直し**、一生懸命頑張っていました。この企画案は**チームメンバーの努力の結晶**ともいえます。このチームに入って**本当に良かった**と思います。



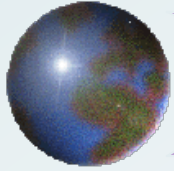


# PBLにより身についたこと

- ✦ コンテンツ知識⇒貿易業・商社について
  - ✦ 情報収集・調査方法
  - ✦ 企画書、HP,PPT,プレゼンテーション
  - ✦ チームワーク
  - ✦ 待遇表現、コミュニケーション
  - ✦ 異文化コミュニケーション
  - ✦ 論理的思考、説得力、問題発見解決能力
  - ✦ 自己学習力
- ⇒総合的BJ力

G人材のプロフィ  
シエンシー

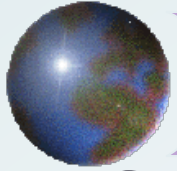




## \* グローバル材のプロフィシエンシー

中国日系企業調査：堀井（2008）などより

- ✦（日本語/外国語）によるコミュニケーション力  
社内外、会議・営業などのバラエティ、電話/Eメール
- ✦（日本・相手国の）企業文化の理解  
（\* 日本ではホウ・レン・ソウ、チームワーク）
- ✦ ビジネスについての知識・ビジネスマナー
- ✦ 論理的説明力・スピーディな問題解決能力
- ✦ 異文化対処能力⇒異文化調整能力



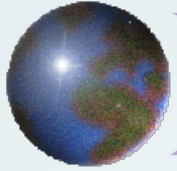
## 6. まとめ & 課題 ← 本日の主張

HR?

キャリア

- ❖ 人が生き生きと生きていくためには？
- ❖ そのためにアカデミック・ジャパニーズ (AJ) と  
ビジネス日本語 (BJ) が果たす役割
- ❖ AJ と BJ の関係性: 共通点がありつながっていく
- ❖ 教育上の課題は何か？ 教師と教授法
- ❖ 留学生だけの問題？

解決の可能性  
あり



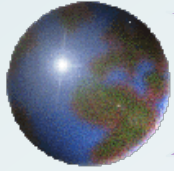
## 参考文献

経済産業省産業人材参事官室(2007)「外国人留学生向けの  
研修のあり方について」

田崎敦子他(2011)「キャリア形成と異文化間教育」『異文化間教育』33

堀井恵子(2008)「留学生に対するビジネス日本語教育のシラ  
バス構築のための調査研究—中国の日系企業へのイン  
タビューからの考察」『武蔵野大学文学部紀要』第10号

堀井恵子(2010)「プロジェクト型ビジネス日本語教育の意義と  
課題」『武蔵野大学文学部紀要』第11号



ご静聴

ありがとうございました。

これから・・・活発な議論を！

